

2026年3月期 第3四半期決算 決算補足資料

2026年2月5日

株式会社 ロジネットジャパン



目次



事業構成
・
決算概要

業績予想

成長戦略

参考資料

1. 事業構成	03
2. 損益計算書 (P/L)	04
3. 地域別セグメント業績	05
4. 第3四半期 連結業績の推移	06
5. 貸借対照表 (B/S)	07

6. 2026年3月期 連結業績予想	08
--------------------	----

7. 売上・利益拡大に向けた取り組み	09～11
8. 人財投資について	12
9. 株主還元・IR活動	13～16

10. 参考資料	17～19
----------	-------

1. 事業構成

陸海空を網羅したあらゆる輸送手段で、
全国を結ぶ強固な自社物流ネットワークを構築

トラック輸送関連事業

フェリーを利用したトレーラー輸送による長距離輸送をはじめ、特別積み合わせ便、貸し切り便などニーズに合わせた輸送サービスを提供。また、EC物流事業においては、全国各地のラストマイル専用拠点を起点として、軽貨物車両での宅配業務の他、全国各地への拠点間輸送を提供。



2026年3月期
第3四半期連結営業収益
59,315百万円

トラック輸送関連事業
73.4%

その他
(航空輸送 etc)
11.6%

倉庫事業
6.5%

鉄道コンテナ
輸送事業
8.5%

倉庫事業

全国各地で約55,000坪の倉庫を保有。保管および不隨する仕分け作業などの業務を提供。



鉄道コンテナ輸送事業

2023年度のJRコンテナ年間取扱数は全国2位、全国通運業連合会の加盟事業者(全通系)では全国1位。



2. 損益計算書 (P/L)



【経営成績の概況】

- 当社グループは、「中期経営計画2025-2027」に基づき、4つの営業方針である、「LNJEX」、「独自商品の拡販」、「国際物流事業」、「EC物流事業の拡充」を中心とした営業活動の推進により営業収益の拡大を進めるとともに、車両の適正配置など輸送体制の見直しと強化や、業務のIT化効率化による収益力の強化に取り組んでおります。
- 当第3四半期連結会計期間の**営業収益**は前年同期比1億36百万円減(△0.2%)の**593億15百万円**、**営業利益**は前年同期比76百万円減(△2.5%)の**30億10百万円**、**経常利益**は前年同期比39百万円増(+1.3%)の**30億40百万円**となりました。

(百万円)

	2025年3月期 第3四半期 (累計)	2026年3月期 第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)	主な変動要因
営業収益	59,451	59,315	△136	△0.2	大手取引先の取り扱い数量の増加影響がある一方で、東日本地区の(株)LNJ小泉における取引関係見直しによる減収、および農産物をはじめとした例年ない猛暑による取り扱い数量の減少などにより減収
営業利益	3,086	3,010	△76	△2.5	減収影響に加え、輸送原価の上昇や、昨年度まで行ってきた人財投資の取り組みを拡大したことによる費用増加影響により減益
経常利益	3,001	3,040	39	1.3	受取補償金の計上などにより増益
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,982	2,158	175	8.9	政策保有株式の売却などにより増益

3. 地域別セグメント業績



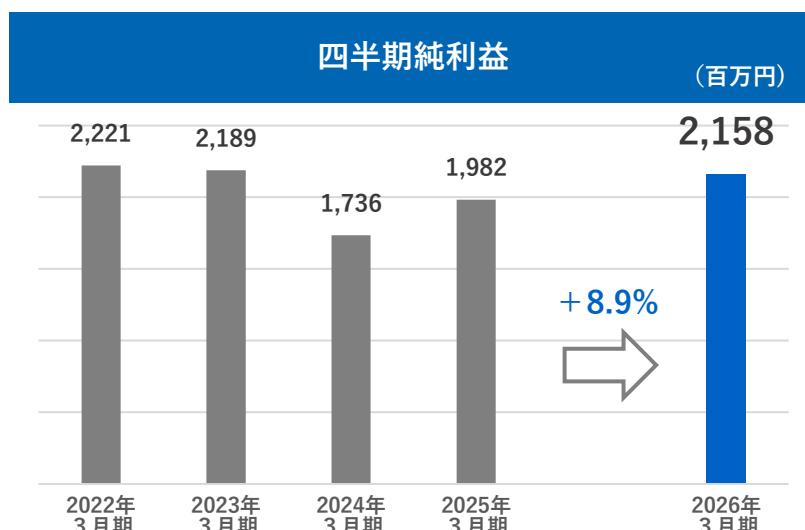
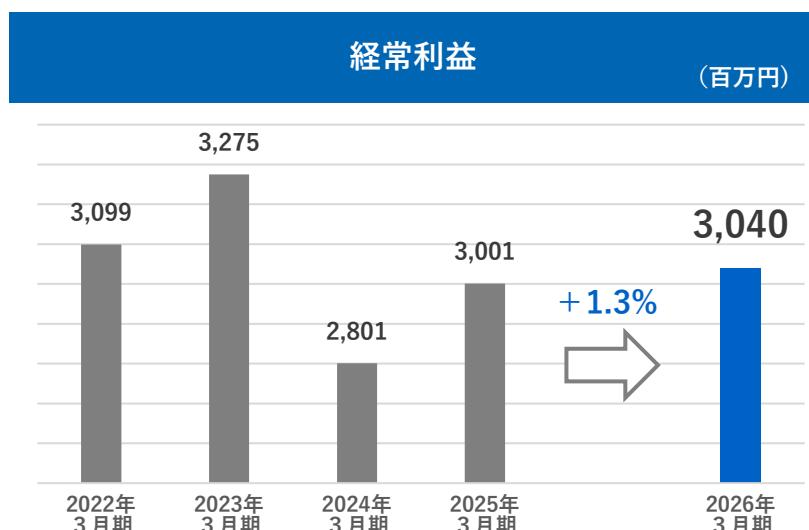
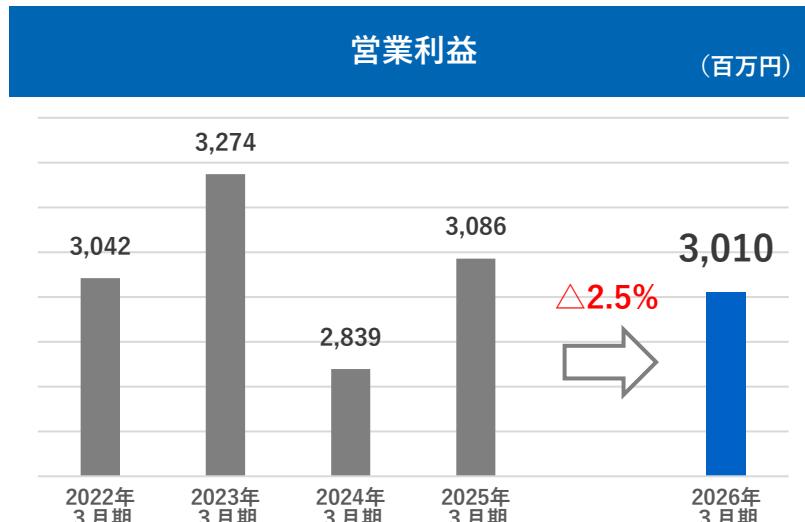
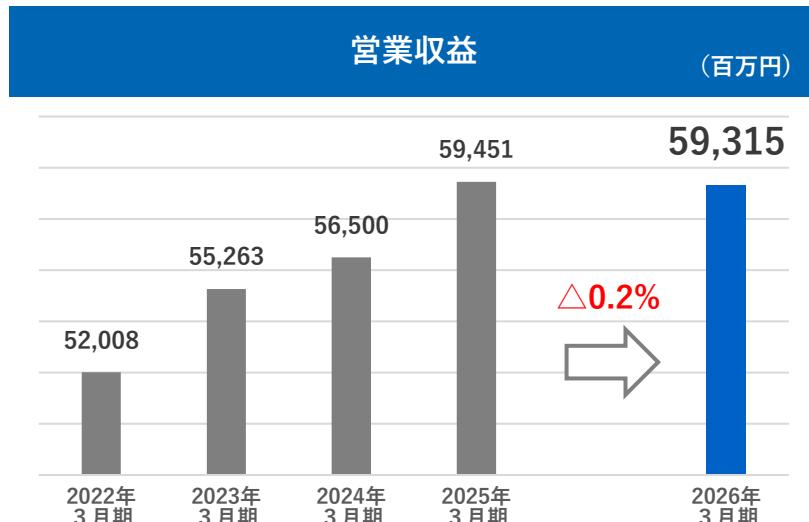
(百万円)

営業収益	2025年3月期 第3四半期（累計）	2026年3月期 第3四半期（累計）	増減	増減率 (%)
北海道地区	17,307	16,980	△327	△1.9
東日本地区	25,081	24,147	△934	△3.7
西日本地区	14,136	15,343	1,207	8.5

セグメント利益

北海道地区	833	670	△162	△19.5
東日本地区	1,316	1,456	139	10.6
西日本地区	579	526	△53	△9.2

4. 第3四半期 連結業績の推移



5. 貸借対照表 (B/S)



- ・総資産**：大手取引先の取り扱い数量の増加に伴い車両投資を進めたことなどから、前連結会計年度末から23億94百万円増加し、**385億89百万円**となりました。
- ・負債**：上記車両投資や自己株式取得のための借入金増加などにより、前連結会計年度末から19億41百万円増加し、**170億96百万円**となりました。

(百万円)

資産の部	2025年3月期	2026年3月期 第3四半期	増減
流動資産	11,045	12,447	1,401
固定資産	25,149	26,142	993
有形固定資産	20,272	20,749	476
無形固定資産	583	722	138
投資その他の資産	4,293	4,671	377
資産合計	36,194	38,589	2,394

負債・純資産の部

負債	15,154	17,096	1,941
流動負債	11,610	12,894	1,283
固定負債	3,543	4,202	658
純資産	21,040	21,493	453
負債純資産合計	36,194	38,589	2,394

6. 2026年3月期 連結業績予想



- ・2026年度3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日発表値から変更はありません。
- ・**全国エリアを対象とした輸送サービス LNJ EX**により事業領域を拡大するとともに、**DODDROZ**、さくらスマイル引越事業などの**当社グループの独自商品の拡販、国際物流事業、EC物流事業の強化**、輸送力維持強化のための料金改定の推進などにより、営業収益目標の達成を目指すとともに、引き続き内製化による自社輸送能力の強化とIT化効率化により業務改善効果を創出することで、収益力の強化を実現してまいります。
- ・2025年度からスタートした「中期経営計画2025-2027」に基づきながら、当社の事業目標である「**2030年度までに連結売上高1,000億円を実現する**」を達成すべく、事業拡大に向けた取り組みを推進してまいります。

通期	2025年3月期	2026年3月期 予想	増減	(百万円) 増減率 (%)
営業収益	77,256	79,500	2,243	2.9
営業利益	3,666	3,700	33	0.9
経常利益	3,468	3,560	91	2.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,248	2,260	11	0.5

7. 売上・利益拡大に向けた取り組み

ロジネットジャパングループでは中期経営計画2025－2027に基づき、2026年3月期の業績目標の達成に向けて、以下の**4つの営業方針**を重点的な施策と位置付けます。



- 1 LNJEX
- 2 独自商品の拡販
- 3 国際物流事業
- 4 EC物流事業の拡充

1 LNJEX

全国ネットワークと多様な輸送モードを活用し、
全国エリアでお客様に最適な輸送メニューを提
供するサービスです。

全国ネットワークと
幅広い輸送モードで

お客様のニーズに
柔軟に対応し

迅速な輸送サービスを
提供いたします

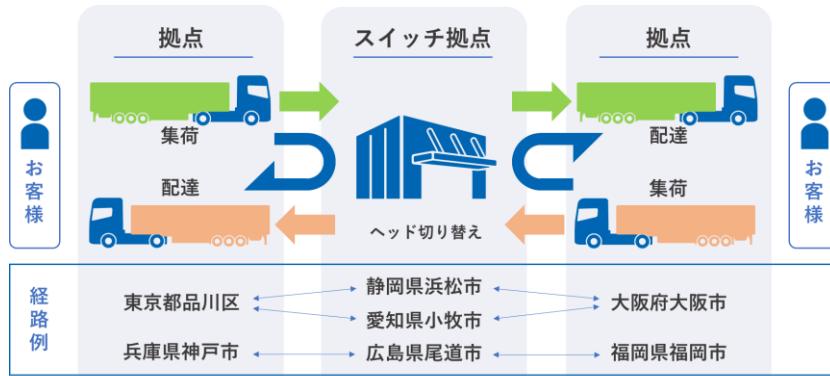
EXPANDABLE
FLEXIBLE
EXPRESS

【2025年度の体制整備】

- 新スイッチ拠点を追加設置（静岡県浜松市／広島県尾道市）
- ハイキューブコンテナ車両導入

〈輸送例〉 トレーラースイッチ運行

スイッチ拠点でトレーラーヘッドを切り替えて運行区間を分割することで、
ドライバー1人当たりの運行距離と時間を短縮し安定輸送を実現



7. 売上・利益拡大に向けた取り組み

2 独自商品の拡販

ロジネットジャパングループ独自の商品の拡販を通し、環境問題や物流業界の課題へ対応します。

DDロジ

1パレット単位で発注された荷物を最終納品先にダイレクトにお届け。
「コスト削減・作業削減・CO2削減」を実現しながら、国際物流事業においても利用推進中。

DDロジ の管理システムが特許取得！
DDロジのビジネスモデルを構成する管理システムについて独自性が認められ、2025年7月に特許を取得。

パレット単位で最終納品先まで直送！



DDロジ

専用紙パレット

特許 第7717032号 + 実用新案登録 第3243394号

**さくらスマイル
引越し隊**

総合物流企業としての輸送力を活かした全国エリアでの引越事業



单身引越者向け商品
さくらボックス

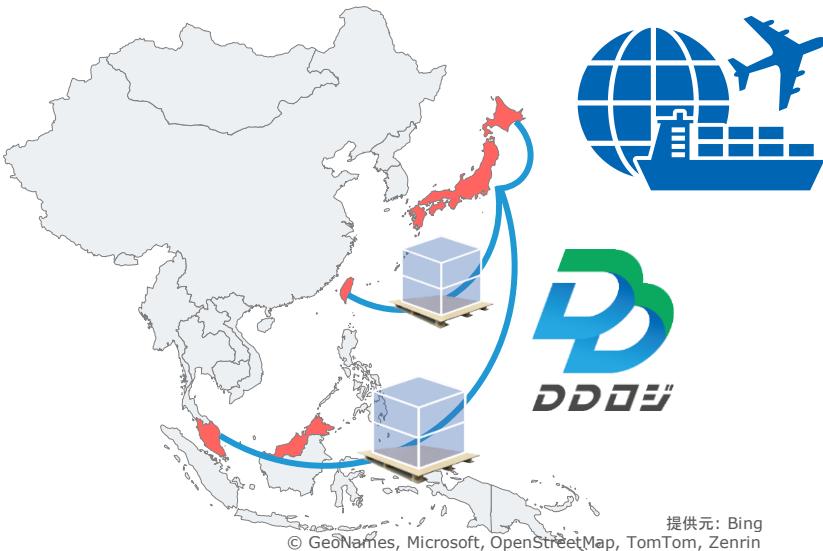
特許取得済み
特許 第7384659号

7. 売上・利益拡大に向けた取り組み

3 国際物流事業

国内輸送の実績を生かし、グローバル市場にも対応した物流サービスを提供するため、国際物流事業へ本格的に参入します。

- 国内外のお客様に対してより広範なサービスを提供し、競争力を高めるための体制整備
- 農産物輸送の実績やノウハウを活かし、増加が見込まれる農産物の海外輸出のニーズに対応
- 国際物流事業においても、当社の輸送商品 など、環境に配慮した持続可能な物流を実現するための取り組みを推進



4 EC物流事業の拡充

これまでに培ったノウハウを活かし、今後も需要拡大が見込まれる輸送ニーズへの対応力を強化します。

- EC物流のニーズに応えるための基盤強化
- EC市場の成長・変化に対応した柔軟な物流事業の提供



8. 人財投資について

「中期経営計画2025-2027」の施策の一環として、事業競争力強化に伴う優秀な人財を確保するため、また社員が安心して仕事に取り組み、能力を最大限発揮できるよう、待遇改善や社内制度を積極的に整備しています。

待遇改善

人財投資を強化する方針のもと、継続的に

- ・大卒初任給の引き上げ
- ・従業員の待遇改善

など、積極的に取り組んでまいりました。

【2025年度 人財投資方針】

- ・大卒初任給を35万円へ引き上げ
- ・継続的なベースアップの実施

社内制度の拡充

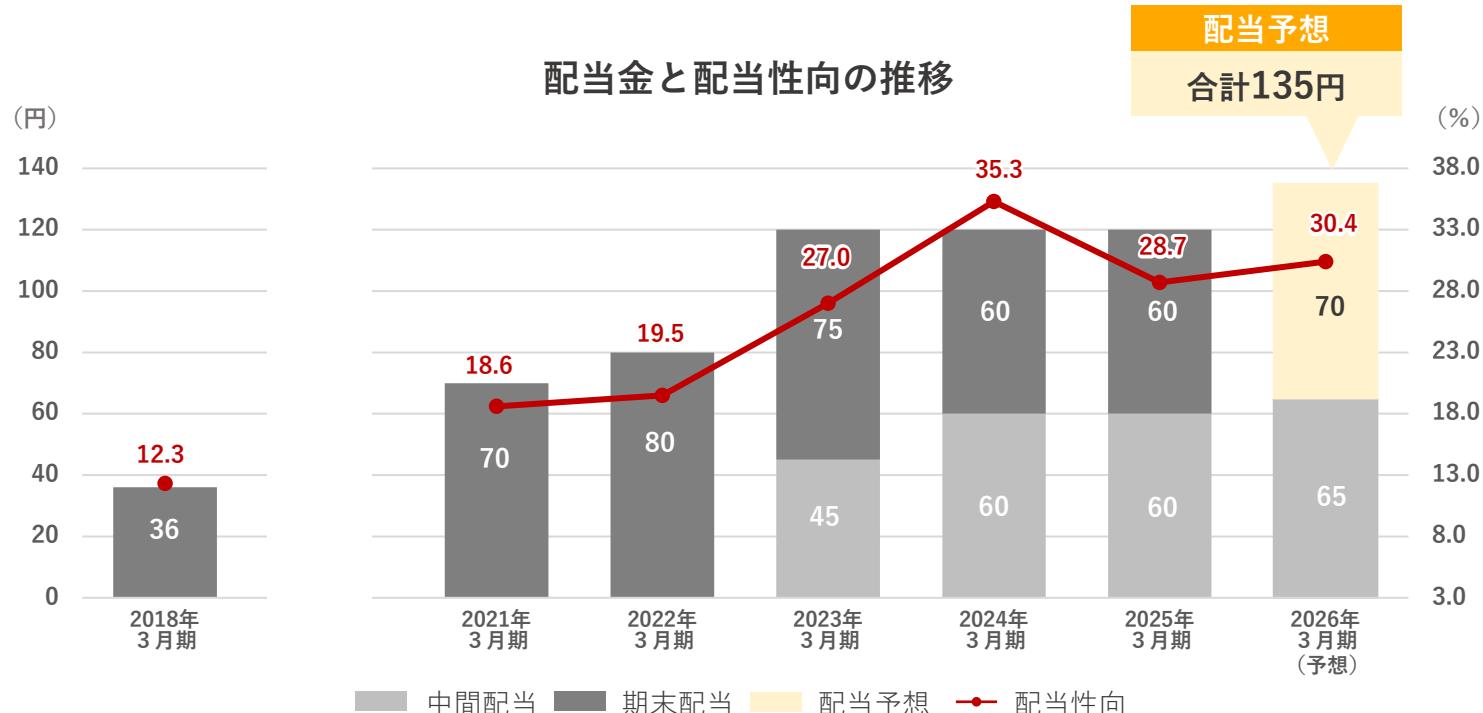
- ・奨学金全額返済支援制度
- ・育児・介護休業期間中の給与支給
- ・借上社宅制度（家賃の3/4を会社が負担）
- ・事業所内保育施設の設置
- ・育児短時間勤務（子が小学校3年生終了まで）
- ・単身赴任者帰省往復交通費支給制度（年6回）

9. 株主還元・IR活動

(1) 配当金について



- 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけた上で、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。
- 2026年3月期の配当は、「中期経営計画2025-2027」に基づき、株主の皆様への利益還元を強化する内容を予定しております。



9. 株主還元・IR活動

(2) 自己株式取得について

1株当たり株式価値の向上による株主還元の拡充と資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするために、自己株式の取得を進めております。

2025年度の取得状況

- (1) 取得した株式の種類 …当社普通株式
- (2) 取得した株式の総数 …411,400株
- (3) 株式の取得価額の総額 …1,557,149,000円
- (4) 取得日 …2025年8月22日
- (5) 取得方法 …札幌証券取引所の立会外自己株式取得取引による買付け

9. 株主還元・IR活動

(3) 株主優待制度について

3月末日を基準日として、100株以上保有いただいている株主様に、当社が製造販売を行っているミネラルウォーター「北海道大雪山ゆきのみず」（1箱550ml×24本入り）を贈呈いたします。

持株数	送付数
100～499株	1 箱
500～9,999株	5 箱
10,000～49,999株	10 箱
以降、5万株毎に	10箱追加



「ゆきのみず」とは

ゆきのみずは、自然豊かな北海道大雪山で採水されたナチュラルミネラルウォーターです。地元をはじめ、全国の著名なホテルやレストランで客室冷蔵庫の飲料水、テーブルウォーター等にもご利用いただいております。

また、安心安全の品質が評価され、**mondselektion優秀品質最高金賞**を受賞（2023年度）したほか、札幌商工会議所の認証である「北のブランド」においても9年連続で金賞評価を得ております。



9. 株主還元・IR活動

(4) 個人投資家向け説明会を開催

2025年11月26日に札幌証券取引所にて、当社としては初めてとなる個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。

説明会では、代表取締役 社長執行役員 橋本 潤美より、当社の事業内容や成長戦略・資本政策について説明いたしました。

当社では、今後も株主・投資家の皆さんに向けた取り組みとして、IR資料の充実及びIR活動の強化に注力してまいります。



当日の会場の様子



当社事業に関するチラシ・手土産を配布

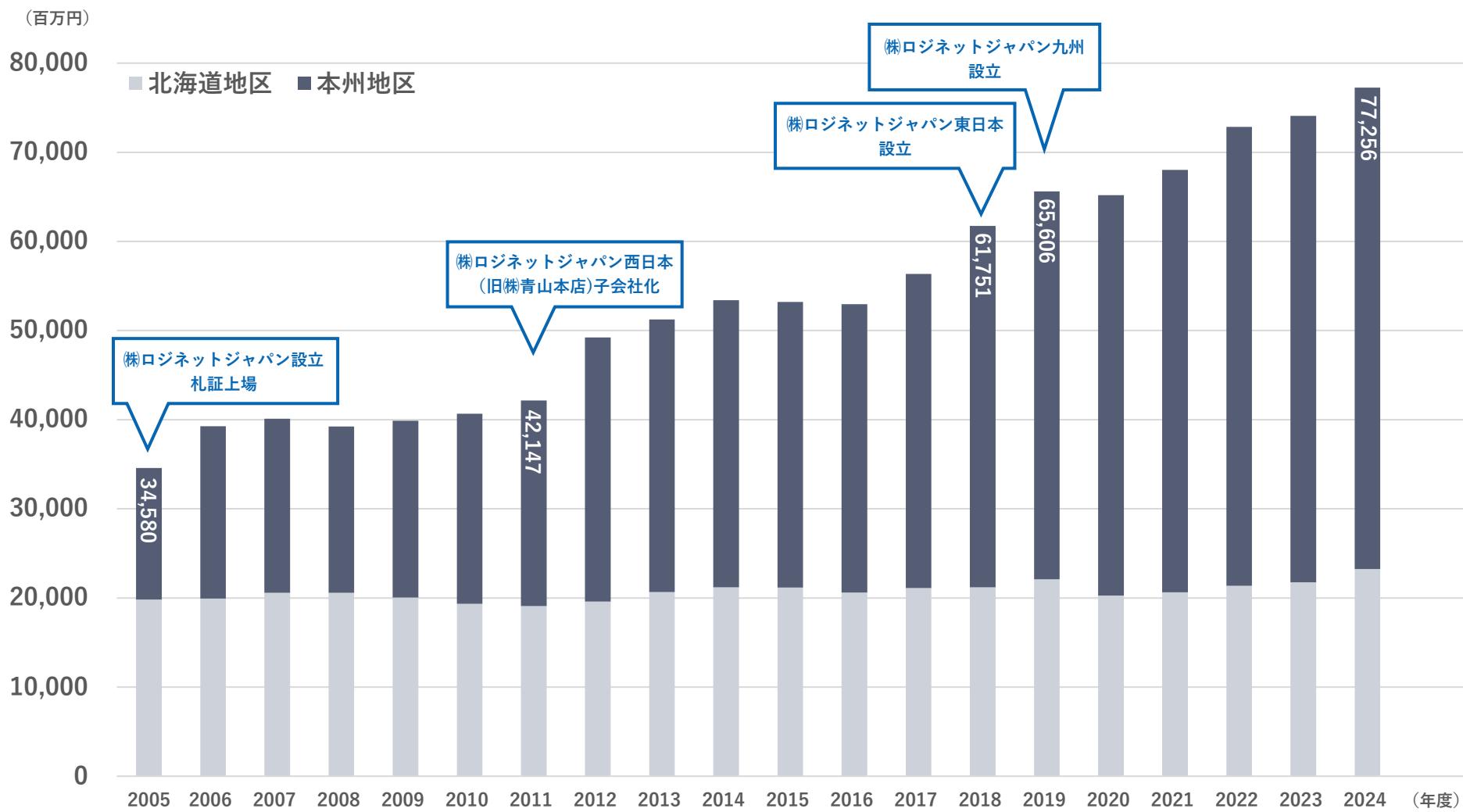
説明会資料および説明会当日の動画を当社ホームページで公開しております。
以下のQRコード及びURLからアクセスしてご覧ください。



(<https://www.loginet-japan.com/ja/ir/library/ir-report.html>)

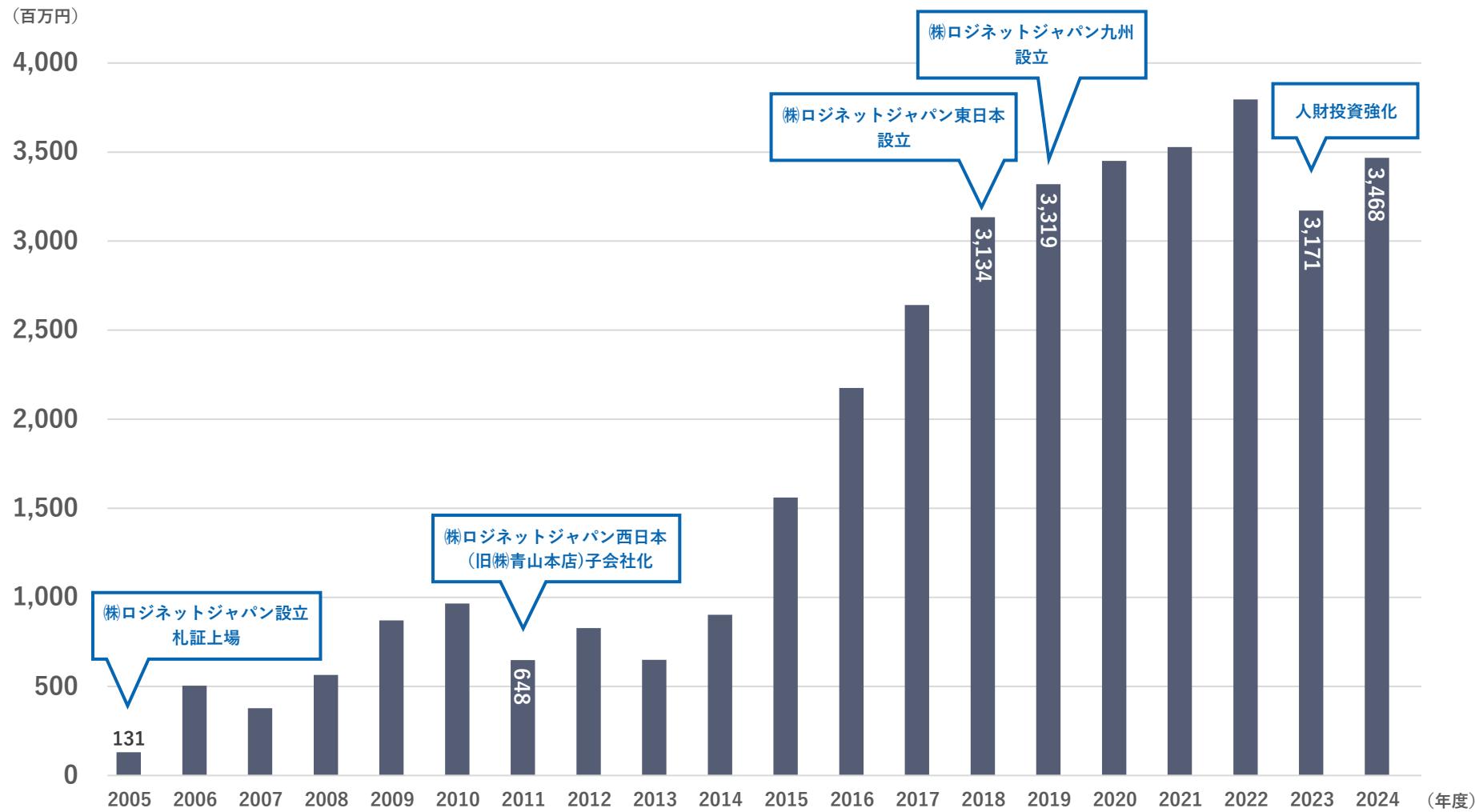
10. 参考資料

(1) 売上高推移



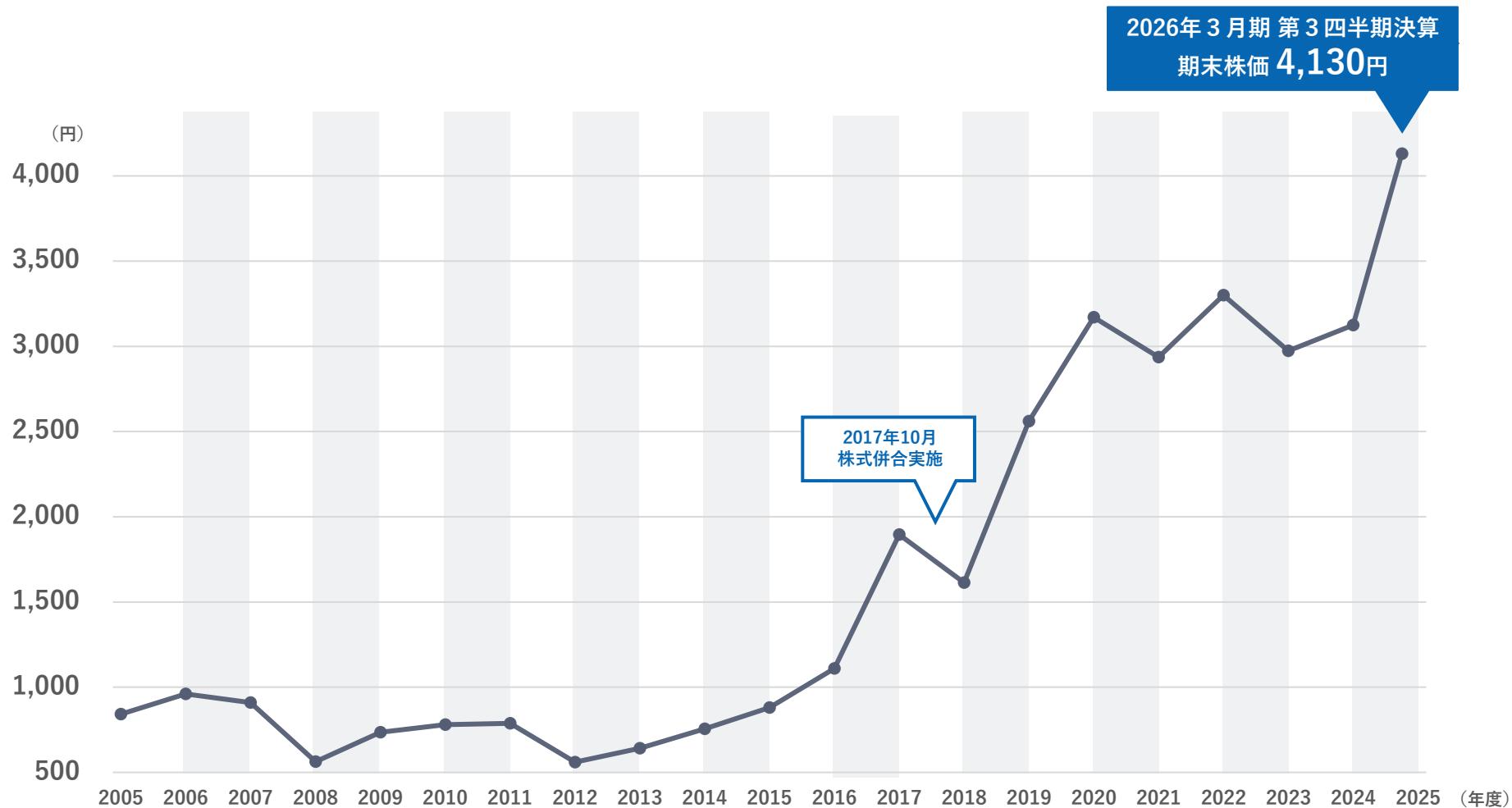
10. 参考資料

(2) 経常利益推移



10. 参考資料

(3) 株価推移



※年度末時点の株価を記載

※2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2016年以前は実際の株価×2を調整後株価として表記



本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。